



2024年6月18日

各 位

上場会社 東京産業株式会社
代 表 者 代表取締役社長 蒲原 稔
(コード番号 8070 東証プライム)
問合せ先責任者 取締役企画本部長 田沢 健次
(TEL 03-5203-7841)

特別利益（貸倒引当金戻入額）、貸倒引当金繰入額及び商品評価損の計上
並びに通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は2024年3月期連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）において、下記のとおり特別利益、商品評価損（売上原価）及び貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）を計上したことにより、2024年4月15日に公表しました2024年3月期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社は、当社が特定の仕入先に対する太陽光発電案件に係る長期未収入金を保全するために受け入れていた担保資産が当社の承諾なく第三者に譲渡されていたことを把握し、長期未収入金の評価等が適切に行われていなかった可能性が判明した件に関し、当社とは利害関係を有しない外部の弁護士及び公認会計士を委員とする外部調査委員会を設置し、事実関係の解明、発生原因及び問題点の調査分析を行ってまいりました。調査結果につきましては2024年1月15日付「外部調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」及び同年4月1日付「外部調査委員会の最終調査報告書受領に関するお知らせ」にて公表しております。

今般、本件長期未収入金の回収可能性の評価対象となった債権の一部について返済を受けたため、2024年3月期第4四半期連結会計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）において、貸倒引当金戻入額を20億85百万円特別利益として計上しました。

2024年3月期第1四半期連結会計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）に計上済の80百万円とあわせ、2024年3月期連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）において計上した貸倒引当金戻入額（特別利益）は合計21億65百万円となります。

2. 貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）及び商品評価損（売上原価）の計上について

当社及び当社タイ国の連結子会社であるTOKYO SANGYO (THAILAND) CO., LTD.（以下、「タイ子会社」といいます。）がタイ国内の特定の取引先より受注、販売したバイオマス発電所建設（以下、「本案件」といいます。）に用いる機械設備について、一部の売掛金に回収の遅延が生じております。

本案件の進捗状況を踏まえ、当該売掛債権の回収可能性について総合的に勘案した結果、2024年3月期第4四半期連結会計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）において貸倒引当金繰入額8億81百万円を販売費及び一般管理費に計上することといたしました。またタイ子会社が本案件向けの棚卸資産（商品）を保有しておりますが、汎用品ではなく転売が困難であることから、あわせて当該棚卸資産に対する評価損を売上原価として4億25百万円計上しております。

3. 業績予想値と実績値との差異について

2024年3月期連結業績予想値と実績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (△損失)	1株当たり 当期純利益 (△損失)
前回発表予想(A)	百万円 60,000	百万円 △2,800	百万円 △2,400	百万円 △2,000	円 銭 △77.00
実績値(B)	65,029	△4,396	△3,945	△1,441	△55.45
増減額(B-A)	5,029	△1,596	△1,545	558	
増減率(%)	8.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績(2023年3月期)	65,447	723	968	△4,960	△191.22

4. 差異の理由

2024年5月15日付「2024年3月期決算短信の公表日に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社が元請けとして受注する別の太陽光発電工事請負案件において、追加工事に係る費用負担に関連して工事原価の増額に伴う工事原価総額の見積り変更が適切に処理されていなかった可能性が判明した件等に関し、調査対象となった特定の工事請負案件に関する工事進捗や工事原価を慎重に確認してまいりました。前回予想時点では本件工事について売上を見込んでおりませんでしたでしたが、一定の進捗を確認したことにより売上高が増加しました。このほか、タイ国子会社 TOKYO SANGYO (THAILAND) CO., LTD. を新規に連結したこと等により、前回発表予想に比べ50億29百万円増加しております。

「2. 貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）及び商品評価損（売上原価）の計上について」に記載のとおり、売上原価を4億25百万円、販売費及び一般管理費を8億81百万円計上したこと等により、前回発表予想に比べ営業利益が15億96百万円、経常利益が15億45百万円減少しました。

これらに加え、「1. 特別利益の計上について」記載の通り、特別利益を20億85百万円計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想に比べ、5億58百万円増加しました。

なお、配当予想に関しては2024年5月27日付「2024年3月期の剰余金の配当に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2024年3月期の期末配当予想については一株当たり18円、実施済の中間配当金18円と合わせ1株当たり年間36円となる予定です。

（注）本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上